

2022年10月 日本咳嗽学会

ゲーファピキサントクエン酸塩錠(リフヌア錠 45mg<sup>®</sup>)の適正使用のお願い

リフヌア錠 45mg<sup>®</sup>は、「難治性の慢性咳嗽」を適応症として製造承認を取得し、2022年4月に薬価基準収載、発売されました。本剤の「効能又は効果に関連する注意」として、「最新のガイドライン等を参考に、慢性咳嗽の原因となる病歴、職業、環境要因、臨床検査結果等を含めた包括的な診断に基づく十分な治療を行っても咳嗽が継続する場合に使用を考慮すること」と記載されています。これには、慢性咳嗽に対して非特異的な咳嗽治療薬で安易に対応するのではなく、原因疾患を的確に診断し、疾患特異的な治療を十分行うように学会の指針やガイドラインが推奨していることが反映されています。

長引く咳は、肺がんや間質性肺炎など生命に関わる疾患、結核など公衆衛生に関わる疾患の主訴となることがあり、早期の確定診断が必要です。これらの疾患を除外した狭義の慢性咳嗽の原因には、(咳)喘息、胃食道逆流症、副鼻腔気管支症候群、アトピー咳嗽(喉頭アレルギー)などがあり、その鎮咳には各疾患の病態に応じた特異的治療が必要です。いずれの疾患でも、非特異的な咳嗽治療薬で症状がマスクされた場合、原因疾患に対するアプローチが不十分になる可能性があります。難治性の慢性咳嗽にリフヌア錠<sup>®</sup>を使用される場合は、診断および特異的治療を十分に行った上で導入いただくこと、また味覚障害などの副作用発現の可能性を説明していただく様お願いいたします。

#### 参考文献

- 1) NPO 法人日本咳嗽学会編. 専門医のための遷延性・慢性咳嗽の診断と治療に関する指針 2021 年度版
- 2) 日本呼吸器学会咳嗽・喀痰の診療ガイドライン 2019 作成委員会編. 咳嗽・喀痰の診療ガイドライン 2019